

坪生学区まちづくり推進委員会

委員長 小出 純二

（問合せ先） 084-947-2411（坪生交流館）

## 事業内容

- (1) 坪生ふれあい夏まつり（8月6日に予定し準備を進めるが中止）
- (2) つぼうふれ愛フェスティバル  
（11月6日 坪生小学校 約1,200人）
- (3) 健康ウォーキング&とんど祭り（1月8日 坪生小学校 254人）
- (4) 総務関連事業 つぼうまちづくり便り 3,300枚/2回,  
11月からカラー回覧 400枚/3回  
リモート会議の実施, ホームページの充実, 坪生まちづくりLINE  
公式アカウントの開設, 東部まちづくり博覧会パネル展企画・制作にて坪生の魅力を発信。
- (5) 地域安全対策事業 夏・冬交通安全運動街頭キャンペーン実施累計120人, 安全な通学路の確保のための危険箇所実態調査, 通年登下校見守りボランティア活動, 高齢者交通安全教室（9月30日 坪生公民館 50人）
- (6) 福祉関連事業 生活支援事業「坪生きずな隊」高齢者世帯の庭木の手入れ, 辻ノ池広場清掃作業等24件
- (7) 環境衛生推進事業 廃油回収年4回, 環境美化活動（年5回, 県道76号線路肩, 交差点への植樹活動/内3回 東朋中学校・東朋中学校PTA 合同清掃植樹活動を実施）
- (8) 自主防災に関する事業 町内会毎の防災避難計画の作成, 地域防災リーダーの増員と地域防災の参加要請, 福山市一斉防災訓練に合わせ各町内会で東朋中学校と坪生小学校に分かれて避難。心肺蘇生, 筒先体験など本番さながらに訓練を行う。（11月27日 393人）
- (9) コミュニティ育成事業（通年23町内会）各町内会にて清掃活動, ゴミステーションの補修と充実
- (10) まちづくり推進委員会運営事業 運営のための連携会議の実施 各種団体情報交換会議（年3回）, 事業運営会議（本部役員会13回）
- (11) ドローンフェスタ（2月19日 坪生小学校 56人）  
防災訓練のデジタル化を意識した, 新しい事業展開で3世代での事業



## 成果

昨年度は, 役員の負担軽減や皆が参加できる行事の観点から行事内容について住民へのアンケート調査を行い, 調査結果を参考に役員会で検討した。今年度は, その結果を上記の行事に反映させ一定の成果が得られた。

また, ホームページ, 坪生まちづくりLINE 公式アカウントの開設により住民への広報の充実も図られた。

## 課題

実施した行事は, コロナ禍のため2年ぶりに行ったことや見直した内容が机上と実際では食い違いがあったこと等により, 効果検証が確実に出来なかった。また大きな課題である役員の高齢化による担い手不足は今後の取り組む課題である。

## 課題解決にむけて

行事を行った後, 反省会を開き, 「見直した行事内容はどうだったか, 更に改善点はないか?」等スタッフ全員で考え, 行事に反映させる。また役員の高齢化による担い手不足については, 地域, 市, 県と一体となって取り組んでいきたい。

# 持続可能をめざす坪生のまちづくり

## 坪生学区防災訓練

坪生学区の防災訓練を11月27日(日)に行いました。今年度は初めての試みとして各町内会で決めた避難場所に集合し、避難計画に沿ったルートを確認しながら、それぞれ坪生小学校と東朋中学校の二つの避難所へ約400人が参集しました。

段ボールベットやルームテントの組み立て、消防団による徒手搬送のデモンストレーション、マイタイムラインを紹介するDVDの視聴等を行いました。初めて二会場に分かれての実施でしたが、実際の避難を想定した訓練を行うことができました。



【段ボールベットの組み立て体験】

【マイタイムラインについてDVDの視聴】



【徒手搬送のデモンストレーション】



## つぼうふれあいドローンフェスタ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、急きょ中止となった坪生ふれあい夏まつりの代わりに、“大人も子どもも皆が楽しめるイベントを行う”をコンセプトとし、今年度初めて「つぼうふれあいドローンフェスタ」を2月19日(日)坪生小学校体育館にて開催しました。

44組56人(うち子ども27人)が参加し、ドローンの基本的な操作を学んだ後、お菓子釣りに挑戦しました。まちづくり事業にお子さんや保護者の方が興味を持って参加していただくきっかけを作ることができた事業でした。



誰でも簡単に操縦できます!

ゲート潜りやお菓子釣りで楽しく学べました!



## デジタルを活用したまちづくり

坪生学区まちづくり推進委員会の総務部会が坪生学区まちづくり公式LINEの立ち上げと運営を進め、デジタルを活用した坪生学区の広報活動に力をいれています。現在公式LINEは約300人の登録者数で、今後は利用者を増やし、将来的に回覧物の削減と情報伝達のツールとして有効利用できるよう運営を進めていきます。また今年度からまちづくり便りをカラーで発行し、全戸配布から回覧数配布へ変更を行いました。役員さんの負担軽減も視野に入れて運営しています。

モノクロからカラーになったまちづくり便り



お友達大募集中です

坪生学区まちづくり公式LINEアカウント

